



町村連

発行元
自治労北海道本部
町村連絡会議

第38回全国町村職
総決起集会

組合員と運動構築

全単組で要求・交渉の実践を

2017年2月17日、東京都・よみうりホールで「第38回全国町村職総決起集会」が開かれ、47県本部・757人、北海道から143人（うち女性30人）が参加した。



デモ行進でシュプレヒコールを上げる参加者＝2月17日、東京都

山木・全国町村評議議長は、賃金闘争の取り組みについて「学習や議論を重ね課題化することで、春闘期の単組での独自要求につながる。『取り組めない』ではなく『どうしたら取り組むことができ解決につながるのか』を組合員と向き合った運動の構築をお願いしたい」とあいさつした。

川本・中央執行委員長は「2017春闘がス

スタートした。経団連は『年収ベースの引上げ』、連合は『月例賃金を引上げるべき』と論争している。また、働き方改革に伴う長時間労働の是正議論が経営者側に都合の良い議論がされている「など」と情勢にふれたうえで「1年間の賃金闘争のスタートが春闘であり、全単組で要求書提出・交渉の実践を徹底し、たたか

い抜こう」と呼びかけた。その後、総務省・町村会交渉報告の後、奈良県本部・平群町職における「不当な賃金削減闘争」の報告、集会宣言を採択して、山木議長の団結ガンバローで集会を終えた。集会終了後、「町村職員賃金格差是正」などを訴え、デモ行進および国会請願行動を実施した。

連載企画 2017年度幹事の紹介②

■副代表幹事

音威子府村職・高橋利玄



副代表幹事として2年目を迎えました。

担い手不足などから、「これからの運動を担う仲間とどう関わり、運動を継承し発展させていくのか」という大きな課題があります。町村ならではの顔の見える丁寧な運動を実践していくことが今本当に重要です。課題は多いですが、明るく楽しく元気よく！みなさんとも頑張ります

■副代表幹事

遠別町職・柿崎克之



町村連に参加するたびに、全道の町村単組で、自治労運動が、世代を超えて、職場の絆や伝統を作り「自分たちのもの」として続けられていることを実感します。困難は多々ありますが「自治労運動だからこそ」と心に据えて運動ができるのだと思います。

皆さんと学習、交流し、副代表幹事として力を尽くしていきたいと思えます。

【当面のスケジュール〔予定〕】

- 6月2日 道本部第125回中央委員会（札幌市）
- 6月3～4日 道本部町村連第4回幹事会（未定）
- 9月2～3日 道本部町村連第5回幹事会（札幌市）
- 9月27日 道本部町村連第6回幹事会（札幌市）
- 道本部町村連2017年度総会（札幌市・自治労会館）
- 9月28～29日 道本部第59回定期大会（札幌市・ポールスター札幌）

今年も発行します！

本教宣紙では、少ししかご紹介できなかった、「第38回全国町村職総決起集会」の内容や参加者の感想をまとめた「報告集」を下記のとおり発行します。お楽しみに！

＜第38回全国町村職総決起集会報告集＞

【発送時期】2017年3月末（予定）

※諸事情により発送日が前後する場合があります。

第38回町村職女性交流集会

ワーク・ライフ・バランス意識を変えて

2017年2月16日、東京都・自治労会館で、「第38回自治労町村職女性交流集会」が開かれ、32県本部151人(女性117人、男性34人)北海道から31人が参加した。岸・本部組織対策局長が「2017春闘と女性の課題」と題して講演した。

岸局長は、自治労春闘のおもな課題のひとつである「ワーク・ライフ・バランスの実現と男女平等の推進」について、「日本語の『過労死』が英語でも通じてしまうほど、日本はライフを優先できない働き方となっているため、労働時間についても春闘で取り組む必要がある」と強調した。



講演する岸局長

女性交流集会には、北海道から31人が参加した＝2月16日、東京都

「ワーク・ライフ・バランス」と男女平等がセットなのは、女性の問題を解決するには、女性のおかれている実態のみでは解決できないためであり、定年まで働き続けるには柔軟な働き方ができる環境が必要だ。ワーク・ライフ・バランスは進化してきたが、バラン

スを取るためには職場全体の意識、一人ひとりの意識を変えていかないと環境は変わっていかない」と締めくくった。講演の後には、12班に分かれて分散会が行われ、全国から参加した仲間と職場の実態や悩み等について語り合った。集会の参加者は、役員経験者から採用数年の若手職員まで幅広く、地域も異なるため、良い環境・悪い環境それぞれについてさまざまな意見があり、新たな気づきの場となった。

集会起決参加者の声

「組織強化」「組合活動の理解」が大切と感じた

樋口 葵惟さん



今回のような集会に参加することができ、とてもよかったです。

七飯町労働 中野 翔太さん



奈良県本部・平群町職の闘争報告で、当局による不当な賃金削減に対して、積極的たたかっている団結力や姿勢がすごく印象的だった。普段から、交流や学習をつうじて、単組の組織強化をはかってくることが、とても大切だと感じた。デモ行進と請願行動では、組合員や国会議員の方々とシユプレヒコールを起こしたことでより強い結束力を感じることができ、大変良い経験になった。今

団体生命共済 + 長期共済 で

在職中から退職後の一生涯の保障を
自治労共済生協組合員だから利用できる共済です。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
ご開始にあたってはパンフレットをご覧ください。

保障のことなら全労済 全労済は、安くて安心したい保障の生活として、団体共済を軸に、組合員の皆さまの安心とよりよい暮らしを実現しています。共済金を活用し、大切な瞬間に役立ち、暮らしをより豊かにします。

ZENROSAI NEWS 5113V358

ご不明な点がございましたら、まずは組合員にご連絡ください。

全日本自治労団体労働者共済生活協同組合